令和５年度 花川小学校 学校評価

学校教育目標　「しなやかに　たくましく　生きる子」

Ⅰ　令和５年度の取組

【知】やる気いっぱい	【徳】やさしさいっぱい	【体】元気いっぱい
○　主体的に学び、課題を解決する子 ○　学ぶ楽しさが分かり、しっかり勉強する子 ・子どもの学ぶ意欲を喚起し、主体的な学びの実現 ・「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善 ・学習内容の確実な定着・学びの場づくり・読書活動の推進 ・外部人材の活用・タブレット型端末の活用・教員の資質向上研修	○　礼儀正しい子 ○　仲間を大切にする子 ・良好な人間関係の構築　・凡事徹底（きまりを守る） ・イイトコメガネの深化　・キャリアパスポートの活用 ・温かい気持ちで話を聞く指導　・縦割り活動の充実 ・時と場に応じた丁寧な言葉　・幼保、視特校との交流活動	○　命を大切にし、健康的で安全な生活ができる子 ○　目標に向かって、ねばり強く挑戦する子 ・命の大切さを伝える（命を守る日の実施、道徳） ・体力アップを目指す活動（体力アップの時間、持久走記録会） ・身を守るための安全指導（防犯・防災、交通安全） ・基本的生活習慣の定着（早寝、早起き、朝ごはん、食育） ・外遊びの奨励　・「新しい生活様式」の徹底

Ⅱ　自己評価

○　児童の評価

やる気いっぱい	1	授業での学習内容が分かった。	94.1%
	2	授業では、ゴールを見通して学習に取り組んでいる。	82.4%
	3	問題を解決するために，友達と話し合うことができる。	94.1%
	4	学習を振り返り、自分の考えの変化や成長に気付くことができる。	86.3%
	5	学習の中でタブレットやパソコンを活用して、調べたり、まとめたりしている。	98.0%
	6	自分に必要な内容を選んで、自主勉強に取り組んでいる。	86.3%
やさしさいっぱい	7	授業中は、「さん」「くん」をつけて呼んだり、場に応じて丁寧な言葉遣いで話したりしている。	86.3%
	8	温かい気持ちで、相手の話を最後まできちんと聞くことができる。	92.2%
	9	決まり・約束を守ることの大切さを考え、行動している。	92.2%
	10	周りの人に感謝の気持ちを持ち、進んで「ありがとう」の言葉を伝えている。	98.0%
	11	友達のいいところを進んで見つけ、伝えている。	98.3%
	12	知りたいことがあるとき本を利用したり、時間があるときに本に親しんだりしている。	68.6%
	13	外部の人から学ぶ学習や施設等を見学する学習に進んで取り組んでいる。	90.2%
元気いっぱい	14	体力アップ（授業、朝活動、部活等）に進んで取り組んでいる。	86.3%
	15	学校のある日は、早ね、早起きをしている。	88.2%
	16	毎朝、朝食を食べてたり、苦手なものがあっても頑張って食事をしたりしている。	86.3%
	17	食事後やねる前に歯みがきをしている。	96.1%
	18	命の大切さを考えて、避難訓練は、真剣に取り組んでいる。	100.0%

○　保護者の評価

やる気いっぱい	1	お子さんは、分からないことがあったとき、調べたり聞いたりしている。	89.4%
	2	お子さんは、授業で学習したことについて、家で話をする。	80.9%
	3	お子さんは、パソコンやタブレットを使った授業や学習に興味をもっている。	97.9%
	4	お子さんは、進んで宿題に取り組んで提出している。	78.7%
やさしさいっぱい	5	お子さんは、時と場に応じて、丁寧な言葉遣いで話している。	72.3%
	6	お子さんは、温かい気持ちで人の話を最後まで聞いている。	85.1%
	7	お子さんは、決まりや約束を守って生活している。	89.4%
	8	お子さんは、周りの人に感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」を言っている。	93.6%
	9	お子さんは、進んでお手伝いをしている。	76.6%
	10	お子さんは、知りたいことがあるとき本を利用したり、時間があるときに本に親しんだりする。	63.8%
	11	お子さんは、行事や活動において、生き生きと活動している。	91.5%
元気いっぱい	12	お子さんは、進んで体力づくりに取組んでいる。	74.5%
	13	お子さんは、学校がある日に早寝・早起きをしている。	87.2%
	14	お子さんは、毎朝、朝食を食べたり、苦手なものがあっても頑張って食事をしている。	85.1%
	15	お子さんは、食後やねる前にしっかりと歯みがきをしている。	95.7%
	16	お子さんは、命の大切さを考え、安全に気を付けて生活をしている。	97.9%

○　職員の評価

・ゴールを明確にした単元づくりやキャリア教育の推進、振り返りの時間の確保を心掛けた。
・花川小いじめ防止基本方針のもと、職員が同一歩調で対応し、積極的認知、早期対応を実践した。
・発達支援教育では、今年度、専門家を交えた研修を行えたことが自分自身の学びにつながった。
・学校支援コーディネーターを中心に、外部人材の活用を進めることができた。クラブ活動、生活科、図工科、総合的な学習の時間等で多くの外部人材の協力を得て、授業内容の充実化・安全化が図られた。
・児童一人一人の発達段階を考慮して、個別最適な学び方を提供し、基礎学力の定着を図る必要がある。
・時間割については、バランスよく組めているが、教員の教材研究の時間が十分に確保はできていない。
・さくら連絡網の活用を SC の面談希望等で実施した。便り等で更に有効に活用できると思われる。

Ⅲ　学校運営協議会による学校関係者評価

・年々児童数が増えているが、引き続き全児童が仲良く、小規模校ならではの温かい雰囲気を大切にしてもらいたい。花川幼稚園との交流では、子供たちが温かく受け入れて親しみのある交流ができた。
・他の学校に比べ、人数が少ないため、たくさんの経験ができていると思う。皆で協力し合い日々の行事をこなしているので、子供たちは頑張っていると感じている。
・学校で見る元気のよさや挨拶を外でもできるようになってほしい。また、交通ボランティアに会った時、もっと大きな声であいさつができると更にやる気・前向きさが出て成長すると思う。将来に向けて、あいさつする意味を学んでほしい。
・公園の工事や地域の工事の把握など、自治会と連携して子供たちの安全確保をしていく。
・子供たちの良さを伸ばしていってほしい。また、悪いことは悪いと言える雰囲気が大切で、自浄作用が出てくるといじめはでないと思う。そのため、善悪の判断を身に付けさせてほしい。

Ⅳ　今後の改善方策

◇　多様化する一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を実現するため、発達支援教育の理念に基づく児童理解・支援、外国に由来のある児童への配慮・支援を更に一層進める。
◇　更に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、複線型（自由進度学習）を適宜取り入れていく。
◇　学習の基礎的な内容の確実な定着に向け、実態に合った課題の与え方、個に応じた宿題の見直し、自主学習の時間等の充実に取り組む。
◇　気持ちの良い挨拶、返事、後始末を徹底したり、時と場に応じた言葉遣いやふるまいができるように教師が率先垂範したりして、「礼儀正しい子」の育成に力を入れる。
◇　キャリア教育のさらなる充実に向け、年間計画を見通した教育活動やキャリアパスポートを活用した自己の変容を進めるとともに、保護者とも共有して進めていく。
◇　恵まれた地域の人材や外部人材、学習支援ボランティアの方々を様々な教科や領域で更に有効的・積極的な活用をし、子供に寄り添った支援や花川小ならではの貴重な体験を増やしていく。
◇　読書活動のねらいを明確にし、語彙を増やすための読書や心を豊かにするための読書の両面で子供たちの読書の質を高める方策を検討していく。
◇　いじめの未然防止に向けて、「いじめは絶対に許さない」といった学級風土を高めるとともに、円滑な人間関係作りを進めていく。